

Contents

イントロダクション	長期ビジョンと中期経営計画	事業領域	サステナビリティならびにガバナンスへの取り組み	データ集
>> P. 1 Contents >> P. 3 ダイダンのあゆみ >> P. 5 ダイダンが果たす役割 >> P. 7 Top Message >> P.15 価値創造プロセス >> P.17 数字で見るダイダン	>> P.19 長期ビジョン<Stage2030> >> P.21 マテリアリティ(重要課題) 特定と更新のプロセス マテリアリティマップ マテリアリティとKPI >> P.23 中期経営計画Phase2《磨くステージ》 経営方針 戦略概要 4つの事業領域 《磨くステージ》最終年度（2026年度）業績予想 《磨くステージ》進捗状況について 《磨くステージ》に対する進捗評価 次期中期経営計画Phase3《輝くステージ》に向けて >> P.25 人的資本経営への取り組み ダイダンの人的資本の考え方 成長戦略を牽引する人材獲得 教育効果の高い研修制度の構築 Pick UP! 「人づくりの拠点」ダイダン八尾研修所 従業員エンゲージメントの向上 女性活躍推進・仕事と家庭の両立 長時間労働是正に向けた「SMILE Project」 「ウェルネス現場事務所」の取り組み 特集「つくり手の視点で問う、働く環境のこれから～女性技術者インタビュー～」 >> P.37 財務戦略 当社の財務戦略の考え方 財務健全性の維持 財務健全性を維持しつつ、成長投資と株主還元へ 資本コストや株価を意識した経営に向けて	>> P.41 空調衛生工事～収益の基盤となる事業～／電気工事～変革する事業～ 利益創造プロセスの変革 電気工事 変革する事業 施工力のさらなる向上 品質向上への取り組み 研究開発 協力会社との連携 施工事例 >> P.57 海外事業～成長を牽引する事業～ シンガポール拠点における基盤強化 海外事業拡大に向けた営業活動 海外における施工事例 >> P.61 再生医療事業～イノベーションで社会ニーズに応える～ 再生医療の早期実用化の一端を担う 再生医療の現場に寄り添うハード・ソフトのソリューション ハード・ソフトの両面から再生医療分野を育む 再生医療事業の実績と展望	>> P.65 環境・社会への貢献 ステークホルダー・エンゲージメント サステナビリティマネジメント 環境負荷リスクの低減 社会に対する責任の実践 健康経営の取り組み 社会との関わり TOPICS「ダイダンは高野頌吾の「世界への挑戦」を全力で応援します」 >> P.83 企業基盤の強化 新代表取締役・筆頭独立社外取締役対談 取締役・監査役 グループとしてのガバナンス強化	>> P.99 ダイダンの事業 会社概要 事業拠点および関係会社 >> P.101 完成物件 2024年度完成物件 2025年度完成物件 >> P.103 ESGデータ集 >> P.105 財務・非財務データ(11年間サマリー) 財務情報（連結） 非財務情報 >> P.107 連結財務諸表 連結貸借対照表 連結損益計算書 連結包括利益計算書 連結キャッシュ・フロー計算書 >> P.111 主要財務情報 >> P.112 株式情報

編集方針

ダイダンは2008年度よりCSR報告書を発行し、事業活動やCSR活動を中心にステークホルダーの皆さまに情報をお伝えしてまいりました。2014年度からは名称を「ダイダンレポート」に変更し、従来の内容に加えて財務・非財務データを盛り込み、統合的な企業レポートとしての位置付けを軸に構成しています。

本レポートの対象範囲

- 対象組織
本レポートの対象組織は、ダイダン株式会社単体を基本としています。
財務情報の数値は連結で表示しています。
- 対象期間
2025年4月から2026年3月までを基本としていますが、一部2026年4月以降のものも記載しています。

国連グローバル・コンパクトへの参加

当社は、責任ある市民の一員として持続可能な社会を実現すべく、国連グローバル・コンパクトに署名しています。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則に賛同し、トップ自らのコミットメントのもと、その実現に向けて活動を展開しています。



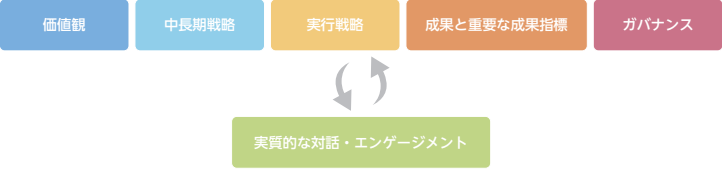
TCFD提言への賛同

当社は、「気候関連財務情報開示タスクフォース」(TCFD) 提言に賛同を表明しました。カーボンニュートラルの実現に向け、事業における気候関連リスク・機会を評価し、その影響を積極的に開示していきます。



参考にしたガイドライン

- ISO26000
 - 環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」
 - GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
 - 経済産業省「企業と投資家の対話のための『価値協創ガイダンス 2.0』」
- 「ダイダンレポート」の制作にあたっては、読者の皆さまに情報をご理解いただくとともに、相互の対話の質を高めていくことを目的として、経済産業省が提示している「価値協創ガイダンス 2.0」に対応付けてコンテンツを編集しています。



（出所）経済産業省「企業と投資家の対話のための『価値協創ガイダンス 2.0』」をもとに作成